

| 審査項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|---|----------|---|---|
| 2. 施工状況 | IV. 対外関係 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ①工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。 <input type="checkbox"/> ②工事施工にあたり、近隣住民（入居官署等を含む）と適切に協議及び調整を行っている。 <input type="checkbox"/> ③引渡し時に入居官署に対し、保守管理について適切な説明を行っている。 <input type="checkbox"/> ④工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> ⑤近隣住民（入居官署等を含む）対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 <input type="checkbox"/> ⑥現場のイメージアップに、取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑦「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑧その他 理由： |
| | | | (減点) 該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点) 該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。 |
| 評価 | | | |
| a：対外関係が優れている。 b：対外関係が良好である。 c：対外関係が適切である。 d：対外関係がやや不適切である。 e：対外関係が不適切である。 | | | |
| 該当項目が90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が80%以上90%未満 | b | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が60%以上80%未満 | c | ③評価値 ()% = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 | |
| 該当項目が60%未満 | d | 評価値 ()% = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100 | |
| | 評価 = | 項 | 項目 % |

| 審査項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|--|---------|---|---|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | I. 出来形 | <input type="checkbox"/> ①承諾図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②施工図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ③現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> ④施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。 <input type="checkbox"/> ⑤出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥出来形の管理方法を工夫している。 <input type="checkbox"/> ⑦解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。 <input type="checkbox"/> ⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨その他 理由： | |
| | | | (減点) 該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点) 該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条に基づき監督職員が改造請求を行った。 |
| 評価 | | | |
| a：出来形が優れている。 b：出来形が良好である。 c：出来形が適切である。 d：出来形がやや不適切である。 e：出来形が不適切である。 | | | |
| 該当項目が90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が80%以上90%未満 | b | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が60%以上80%未満 | c | ③評価値()% = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 | |
| 該当項目が60%未満 | d | 評価値()% = (0) 評価数 / (7) 対象評価項目数 × 100 | |
| | 評価 = | 項 | 項目 % |

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

| 考査項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|---|----------------|--|---|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | II. 品質 建築工事 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> ③施工の各段階における完了時の、品質が適切である。 <input type="checkbox"/> ④躯体工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> ⑤内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 理由： |
| | | | (減点) 該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点) 該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条に基づき監督職員が改造請求を行った。 |
| 評価 | | | |
| a：品質が優れている。 b：品質が良好である。 c：品質が適切である。 d：品質がやや不適切である。 e：品質が不適切である。 | | | |
| 該当項目が90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が80%以上90%未満 | b | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が60%以上80%未満 | c | ③評価値（ ）% = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 | |
| 該当項目が60%未満 | d | 評価値（ ）% = (0) 評価数 / (4) 対象評価項目数 × 100 | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

| 審査項目 | 細 別 | 評価対象項目 |
|---------|-------------------|--|
| 5. 創意工夫 | <p>■準備・後片付け関係</p> | <p><input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由：</p> <hr/> <p>詳細評価内容：</p> |
| | <p>■施工関係</p> | <p><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み</p> <p><input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線、配管等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由：</p> <hr/> <p>詳細評価内容：</p> |
| | <p>■品質関係</p> | <p><input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 躯体工事の品質管理の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の検査・試験に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由：</p> <hr/> <p>詳細評価内容：</p> |

| 審査項目 | 細 別 | 評価対象項目 |
|-----------------|---------|---|
| 5. 創意工夫 | ■安全衛生関係 | <input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） <input type="checkbox"/> 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫 <input type="checkbox"/> 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 <input type="checkbox"/> 作業時における作業環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由： |
| | ■施工管理関係 | <input type="checkbox"/> 出来形の管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工計画書または写真記録等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 <input type="checkbox"/> CAD、施工管理ソフト等の活用 <input type="checkbox"/> CALSを活用した施工管理の工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由： |
| | ■その他 | <その他> <input type="checkbox"/> 当該工事において建設キャリアアップシステム（CCUS）を活用し、すべての実施項目の目標基準を達成した。詳細は「千葉県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」による。 ※本項目は1点の加点とする。 <input type="checkbox"/> その他 理由： <input type="checkbox"/> その他 理由： |
| 評点計＝ (最大 7点) | 点 | 詳細評価内容： |

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、最大7点の加点評価とする。

※3. 上記の審査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。
 なお、主任監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

※4. レ点を付した評価対象項目について、評価した内容及び効果があった内容を詳細評価内容欄に記載する。

| 考査項目 | 細 別 | 評価対象項目 |
|---------|------------|--|
| 2. 施工状況 | II. 工程管理 | <input type="checkbox"/> ①現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ②隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> ③近隣住民（入居官署等を含む）調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ④配置技術者（現場代理人/監理技術者/主任技術者）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> ⑤その他 理由： <p>詳細評価内容：</p> <p>a：工程管理が優れている。 b：工程管理が良好である。 c：工程管理が適切である。 d：工程管理がやや不適切である。 e：工程管理が不適切である。</p> <p>評価＝</p> <p>評価選択 ○ a ○ b ○ c ○ d ○ e</p> <p>※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p> |
| 2. 施工状況 | III. 安全対策 | <input type="checkbox"/> ①建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> ②安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ③安全衛生管理活動が、適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> ④安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑤安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑥その他 理由： <p>詳細評価内容：</p> <p>a：安全対策が優れている。 b：安全対策が良好である。 c：安全対策が適切である。 d：安全対策がやや不適切である。 e：安全対策が不適切である。</p> <p>評価＝</p> <p>評価選択 ○ a ○ b ○ c ○ d ○ e</p> <p>※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p> |
| 6. 社会性等 | I. 地域への貢献等 | <input type="checkbox"/> ①災害時等に地域への救援活動等に協力した。 <input type="checkbox"/> ②周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。 <input type="checkbox"/> ③現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> ④広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> ⑤地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 <input type="checkbox"/> ⑥その他 理由： <p>詳細評価内容：</p> <p>a：地域への貢献が優れている。 a'：地域への貢献がやや優れている。 b：地域への貢献が良好である。 b'：地域への貢献がやや良好である。 c：他の評価に該当しない。</p> <p>評価＝</p> <p>評価選択 ○ a ○ a' ○ b ○ b' ○ c</p> <p>※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c 評価を行う。</p> |

※1. 主任監督員は、監督員の意見を参考に総合的な評価を行う。
 ※2. 評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。
 ※3. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。
 ※4. レ点を付した評価対象項目について、評価した内容及び効果があった内容を詳細評価内容欄に記載する。

| 考査項目 | 細 別 | 評価対象項目 |
|------------------------|--------------------|--|
| 4. 工事特性 (施工条件等への対応) | ■建物規模への対応 | ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 延べ面積10,000㎡以上の建物 <input type="checkbox"/> 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物 <input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物 <input type="checkbox"/> その他(理由:) |
| | 評点= 点 | 詳細評価内容: |
| | ■建物固有の機能の難しさへの対応 | ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 対象建物の耐震レベル <input type="checkbox"/> 建物機能の特殊性 <input type="checkbox"/> その他(理由:) [評価技術事例] ・建築工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物 |
| | 評点= 点 | 詳細評価内容: |
| | ■建物固有の施工技術の難しさへの対応 | ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】 <input type="checkbox"/> 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性 <input type="checkbox"/> 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合 <input type="checkbox"/> その他(理由:) [評価技術事例] ・パイロット工事又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事 |
| | 評点= 点 | 詳細評価内容: |

| 考査項目 | 細 別 | 評価対象項目 |
|------------------------|--------------------|--|
| 4. 工事特性 (施工条件等への対応) | ■ 厳しい自然・地盤条件への対応 | ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時） <input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の影響 <input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） [評価技術事例] ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液化化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 |
| | 評点= _____ 点 | 詳細評価内容： |
| | ■ 厳しい周辺環境、社会条件との対応 | ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 地中埋設物等の作業障害 <input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 <input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） [評価技術事例] ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置（水替え）を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事 |
| | 評点= _____ 点 | 詳細評価内容： |

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|---|---------|---|--|
| 2. 施工状況 | I. 施工管理 | <input type="checkbox"/> | <p> <input type="checkbox"/> ①契約書第19条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。 <input type="checkbox"/> ④施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤事前協議に基づいた工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦一工程の施工の報告が、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪事前協議に基づいた工事の関係書類及び資料の整理がよい。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由： </p> <p> (減点) 該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点) 該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。 </p> |
| 評価 | | | |
| a：施工管理が優れている。 b：施工管理が良好である。 c：施工管理が適切である。 d：施工管理がやや不適切である。 e：施工管理が不適切である。 | | | |
| 該当項目が90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が80%以上90%未満 | b | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が60%以上80%未満 | c | ③評価値 ()% = (評価数/対象評価項目数) × 100 | |
| 該当項目が60%未満 | d | | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|--|----------|--|--|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | I. 出来形 | <input type="checkbox"/> ①承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる <input type="checkbox"/> ④出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 <input type="checkbox"/> ⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩その他 理由： | |
| | | | (減点) 該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。 (減点) 該当すれば e 評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形が不適切であった為、工事請負契約書第 3 2 条に基づく修補指示を検査職員が行った。 |
| 評価 | | | |
| a：出来形が特に優れている。 a'：出来形が優れている。 b：出来形が特に良好である。 b'：出来形が良好である。 c：出来形が適切である。 d：出来形がやや不適切である。 e：出来形が不適切である。 | | | |
| 該当項目が 90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が 80%以上 90%未満 | a' | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が 70%以上 80%未満 | b | ③評価値 ()% = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 | |
| 該当項目が 60%以上 70%未満 | b' | | |
| 該当項目が 50%以上 60%未満 | c | | |
| 該当項目が 50%未満 | d | | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|---|----------------|----|--|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | II. 品質 建築工事 | | <input type="checkbox"/> ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦躯体工事における施工の品質が、施工記録により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由： |
| | | | (減点) 該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。 (減点) 該当すれば e 評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、工事請負契約書第 3 2 条に基づく修補指示を検査職員が行った。 |
| 評価 | | | |
| a：品質が特に優れている。 a'：品質が優れている。 b：品質が特に良好である。 b'：品質が良好である。 c：品質が適切である。 d：品質がやや不適切である。 e：品質が不適切である。 | | | |
| 該当項目が 90%以上 | a | | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 |
| 該当項目が 80%以上 90%未満 | a' | | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 |
| 該当項目が 70%以上 80%未満 | b | | ③評価値 ()% = (評価数 / 対象評価項目数) × 工事比率 × 100 |
| 該当項目が 60%以上 70%未満 | b' | | |
| 該当項目が 50%以上 60%未満 | c | | |
| 該当項目が 50%未満 | d | | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|---|-----------------------------|---|---|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | II. 品質 電気設備工事 受変電設備工事 | | <input type="checkbox"/> ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥施工の品質が、試験や検査結果等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることを確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に、工夫がある。 <input type="checkbox"/> ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由： |
| | | | (減点) 該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。 (減点) 該当すれば e 評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、工事請負契約書第 3 2 条に基づく修補指示を検査職員が行った。 |
| 評価 | | | |
| a : 品質が特に優れている。 a' : 品質が優れている。 b : 品質が特に良好である。 b' : 品質が良好である。 c : 品質が適切である。 d : 品質がやや不適切である。 e : 品質が不適切である。 | | | |
| 該当項目が 9 0 % 以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が 8 0 % 以上 9 0 % 未満 | a' | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が 7 0 % 以上 8 0 % 未満 | b | ③評価値 () % = (評価数 / 対象評価項目数) × 工事比率 × 100 | |
| 該当項目が 6 0 % 以上 7 0 % 未満 | b' | | |
| 該当項目が 5 0 % 以上 6 0 % 未満 | c | | |
| 該当項目が 5 0 % 未満 | d | | |
| | 評価 = | 項 | 項目 % |

※ 1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※ 2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|---|-------------------------------|---|---|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | II. 品質 暖冷房衛生設備工事 機械設備工事 | <input type="checkbox"/> ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥施工の品質が、試験や検査結果等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることを確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に、工夫がある。 <input type="checkbox"/> ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由： | |
| | | | (減点) 該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。 (減点) 該当すれば e 評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、工事請負契約書第 3 2 条に基づく修補指示を検査職員が行った。 |
| 評価 | | | |
| a：品質が特に優れている。 a'：品質が優れている。 b：品質が特に良好である。 b'：品質が良好である。 c：品質が適切である。 d：品質がやや不適切である。 e：品質が不適切である。 | | | |
| 該当項目が 90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が 80%以上 90%未満 | a' | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が 70%以上 80%未満 | b | ③評価値 ()% = (評価数 / 対象評価項目数) × 工事比率 × 100 | |
| 該当項目が 60%以上 70%未満 | b' | | |
| 該当項目が 50%以上 60%未満 | c | | |
| 該当項目が 50%未満 | d | | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。

※2. 目的物の品質の水準を評価すること。

※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|------------------|----------------|----|----------|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | II. 品質 解体工事 | | c 評価とする。 |
| | | | |
| c：品質が適切である。 | | | |
| | | | |
| | 評価＝ C | | |

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|--|----------------|---|---|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | Ⅲ・出来ばえ 建築工事 | <input type="checkbox"/> ①きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> ②関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりにある。 <input type="checkbox"/> ③使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 <input type="checkbox"/> ④仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 <input type="checkbox"/> ⑤色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 <input type="checkbox"/> ⑦保全に配慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> ⑧その他 理由： | |
| | | | (減点) 該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。 |
| 評価 | | | |
| a：全体的な完成度が優れている。 b：全体的な完成度が良好である。 c：全体的な完成度が適切である。 d：全体的な完成度が劣っている。 | | | |
| 該当項目が90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が80%以上90%未満 | b | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が80%未満 | c | ③評価値 ()% = (評価数/対象評価項目数) × 工事比率 × 100 | |
| ④評価対象項目数が2項目以下の場合、全て該当してもc評価とする。 | | | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|--|------------------------------|---|---|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | Ⅲ. 出来ばえ 電気設備工事 受変電設備工事 | <input type="checkbox"/> | ①きめ細やかな施工がなされている。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ②関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ④環境負荷低減への対策が優れている。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ⑤運転操作及び保守点検等の容易さを確保するため配慮がなされている。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ⑥その他 理由： |
| | | | (減点) 該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。 |
| 評価 | | | |
| a：全体的な完成度が優れている。 b：全体的な完成度が良好である。 c：全体的な完成度が適切である。 d：全体的な完成度が劣っている。 | | | |
| 該当項目が90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が80%以上90%未満 | b | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が80%未満 | c | ③評価値（ ）% = (評価数 / 対象評価項目数) × 工事比率 × 100 | |
| ④評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。 | | | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

※1. 全体的な仕上がり状態、機能进行评估する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|--|--------------------------------|---|---|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | Ⅲ. 出来ばえ 暖冷房衛生設備工事 機械設備工事 | <input type="checkbox"/> | ①きめ細やかな施工がなされている。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ②関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ④環境負荷低減への対策が優れている。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ⑤運転操作及び保守点検等の容易さを確保するため配慮がなされている。 |
| | | <input type="checkbox"/> | ⑥その他 理由： |
| | | | (減点) 該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。 |
| 評価 | | | |
| a：全体的な完成度が優れている。 b：全体的な完成度が良好である。 c：全体的な完成度が適切である。 d：全体的な完成度が劣っている。 | | | |
| 該当項目が90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が80%以上90%未満 | b | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が80%未満 | c | ③評価値（ ）% = (評価数 / 対象評価項目数) × 工事比率 × 100 | |
| ④評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。 | | | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。

※2. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

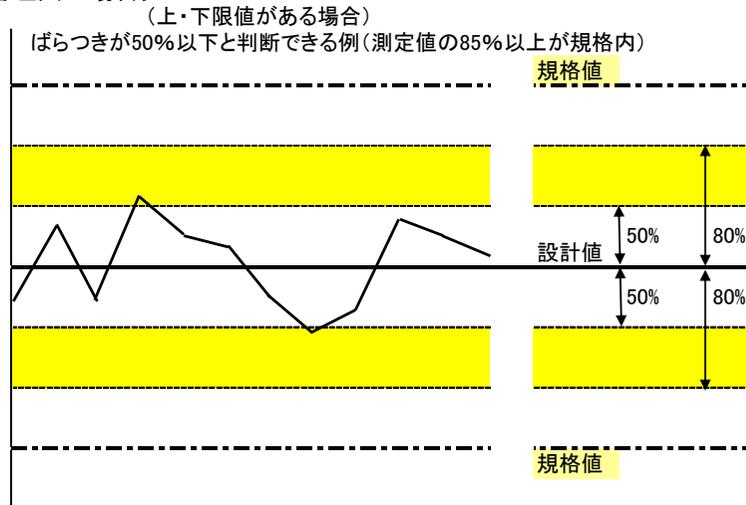
※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

| 考查項目 | 細 別 | 対象 | 評価対象項目 |
|--|-----------------|--|---|
| 3. 出来形及び 出来ばえ | Ⅲ. 出来ばえ 解体工事 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ①埋め戻しや整地の状況がよい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ②施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ③解体残材は良好に除去され、ガラ等が残存していない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ④解体部分と周囲の敷地との取り合いが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤残存する構造物に損傷がなく取り合い部の施工が良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑥その他 理由： | |
| | | | (減点) 該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。 |
| 評価 | | | |
| a：全体的な完成度が優れている。 b：全体的な完成度が良好である。 c：全体的な完成度が適切である。 d：全体的な完成度が劣っている。 | | | |
| 該当項目が90%以上 | a | ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 | |
| 該当項目が60%以上90%未満 | b | ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 | |
| 該当項目が60%未満 | c | ③評価値 ()% = (評価数/対象評価項目数) × 100 | |
| | 評価＝ | 項 | 項目 % |

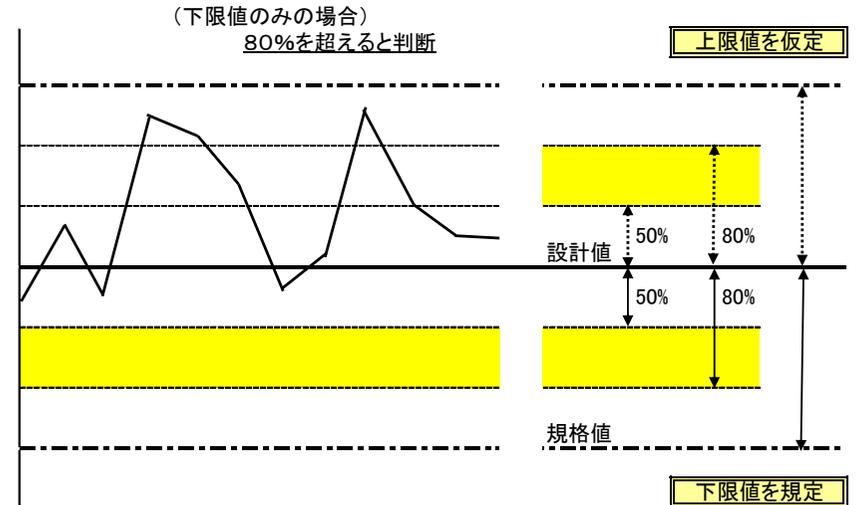
【記入方法及び留意事項】

1. 出来形及び品質のばらつきを考え方

〔管理図の場合〕

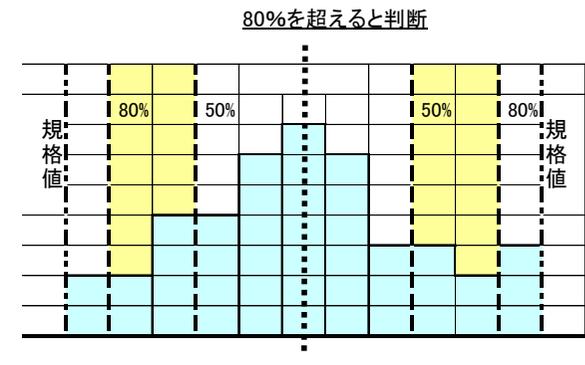
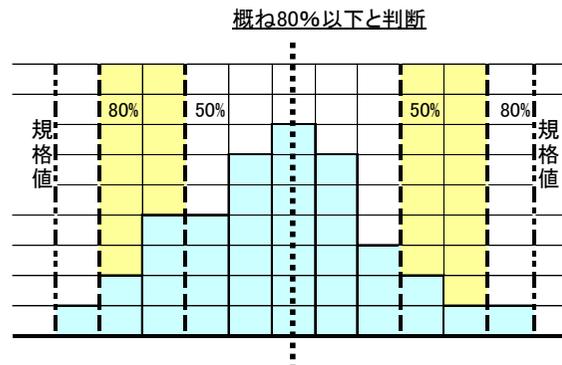
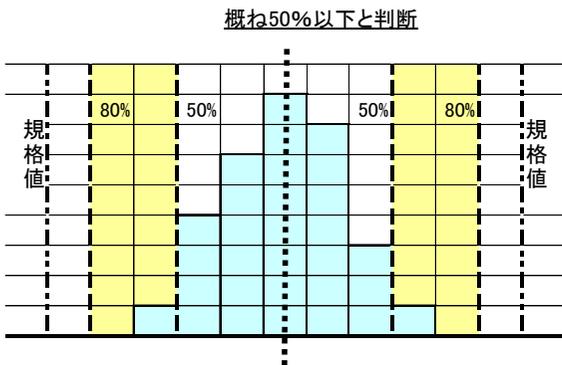


※ 打点数が少なく、ばらつきの判断ができない場合は評価対象項目で評価する。



※ 上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきを考慮する。

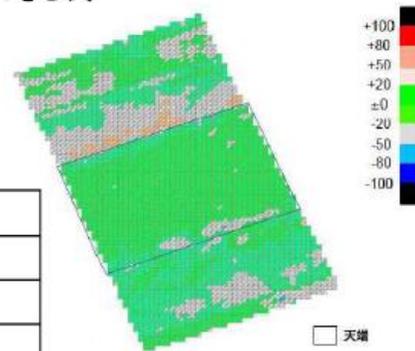
〔度数表または、ヒストグラムの場合〕



③ICT活用工事の例

出来形合否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断
 ばらつきが50%以下と判断できる例

| | | |
|-------------|---------------------|------|
| 天端の ばらつき | 規格値の±80% 以内のデータ数 | 1000 |
| | 規格値の±50% 以内のデータ数 | 997 |
| 法面の ばらつき | 規格値の±80% 以内のデータ数 | 1700 |
| | 規格値の±50% 以内のデータ数 | 1360 |



全データ数

| | |
|---|------------|
| { | 天端 1,000 点 |
| | 法面 1,700 点 |

2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 工事全体の中から主たる工種で評定することとし、金額ベースで70%以上を占める工種を適用する。
- (2) 1工種で70%に満たない場合は、複数工種で考査することとするが、上位2工種に留める。
- (3) 複数工種で考査する場合でも、検査対象に重要構造物がある場合は、これを優先し上位2工種に取り込む。
- (4) 2工種で評価が分かれた場合は、低い工種で代表させる。(バランスがとれていることが高い評価の条件)
- (5) 中間、出来形、完成のすべての検査で当該工事の主たる工種で評定するものとする。なお、中間、出来形検査時の評定に当たって上位2工種の進捗が少ないなど、評定することが不適当な場合は評定しないことが出来る。この場合は、4号様式の所見欄にその理由を記すと共に、後の検査時の評定のため必要に応じて、「考査項目別運用表」の品質及び出来ばえについて可能な範囲の記入を行い、4号様式に添付する。
- (6) 「品質」、「出来ばえ」とも考査項目の追加は認めない。又、不要項目については適宜削除する。
- (7) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、C評価とする。
- (2) 「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、状況に応じて、dまたはe評価とする。

4. その他

- (1) 「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。
- (2) 「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、受注者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。
- (3) 考査項目別運用表の内、新たな工種を作成使用するときは、本庁各検査室に協議すること。

工事成績評定採点をする上で評定点の標準については下記による。

評 定 点 の 標 準

| 評定点の標準値 | 評 価 の 標 準 | |
|----------|------------------------------------|------------------------------|
| 80点以上 | ・ 他の模範となる優秀な工事 (所見例:優秀・模範・特に良い) | |
| 75～80点未満 | 標 準 的 工 事 | ・ 標準的工事の中で優秀なもの。 (所見例:良好) |
| 65～75点未満 | | ・ 標準的な工事 (所見例:概ね良好) |
| 65点未満 | ・ 今後改善すべき事項がある工事 | |